

理事会への上程議案を審議

日本自動車会議所 第80回運営委員会開催



日 本自動車会議所は2月18日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で第80回運営委員会（委員長＝永塚誠一・日本自動車工業会副会長）を開催、3月1日に開催する第203回理事会の上程議案について審議した。

山岡正博専務理事の挨拶、永塚委員長の議事進行

に続いて、畠山太作常務理事が2019年度事業計画案および同予算案について説明。最後に小林義信理事が顧問・評議員委嘱について説明した。審議・意見交換を経て、議案は承認され、委員会は閉会となった。

第100回全国自動車会議所専務理事会を開催

最近の事業活動および
主要課題について意見交換

第 100回全国自動車会議所専務理事会が2月7、8日の両日開催された。会議には、各都府県自動車会議所から16名が出席し、日本自動車会議所より最近の事業活動や当面の主要課題、2019年度の事業方針および事業計画の方向性についての説明の後、意見交換が行われた。

会議は、日本自動車会議所の山岡正博専務理事の挨拶より始まり、畠山太作常務理事が同会議所2018年度の主な事業内容について総括的に報告した。続いて、自動車関係諸税の負担軽減・簡素化要望を掲げ、2019年度税制抜本改正に向け重要な位置付けとして活動を進めてきた税制委員会の活動および改正大綱の内容について説明した。

次に松尾智彦事務局長が、2018年度の交通安全活動の総括として、「交通安全。アクション」（年2回）の実績、交通安全啓発ポスター（エコドライブポス



ター）の展開、各県での俊敏性測定機器（クイックアーム）の活用実績、また4月に開催される「交通安全。アクション2019 新宿」の開催計画に関して報告した。

後半は、畠山常務より、日本自動車会議所のHPの取り組みの状況、人材委員会の活動状況、「自動車保有関係手続のワンストップサービス（OSS）」の2018年度の状況などが紹介された。

最後に、松尾事務局長が次回及び来年度以降の本専務理事会開催地について説明・提案し、次回専務理事会が10月に東京近郊で開催されることが了承された。その後、各都府県自動車会議所との意見交換ならびに情報交換が行われ、会議は終了となった。

「日本自動車会館 キッズエンジニア」 3月27日(水)開催

日 本自動車会館（入館14法人）は、3月27日（水）、小学生を対象とした学習イベント「日本自動車会館 キッズエンジニア」を、初開催となった昨年に引き続き同会館（東京都港区）で開催します。

当イベントは公益社団法人 自動車技術会との共催で、自動車メーカーや部品メーカー、自動車大学校、自動車関係法人が8つのプログラムを企画。イベントを通じて子どもたちに自動車を中心とした様々な科学分野に触れてもらうなど、モノづくりを体験する機会を提供します。

当イベントには、企業のエンジニアなどが講師となってじっくりと学べる「教室型プログラム」（4種類）と、気軽に自由に参加できる「体験展示型プログラム」（4種類）の2タイプのプログラムがあります。子どもたちが自動車に関する科学や技術に興味を持ち、自動車のファンになってくれることを期待しています。

当日のプログラムと入館14法人は次の通りです。

【日本自動車会館 入館14法人（順不同）】

日本自動車工業会、自動車再資源化協力機構、日本自動車販売協会連合会、日本自動車車体工業会、全国レンタカー協会、日本自動車連盟、日本自動車研究所、自動車リサイクル促進センター、全国軽自

自由に参加ができる「体験展示型プログラム」と事前申込みが必要な「教室型プログラム」があります。

主催 | 日本自動車連盟運営委員会 共催 | 公益社団法人自動車技術会
 協力 | カルソニックカンセイ株式会社 埼玉自動車大学校
 株式会社ジェイテクト トヨタ自動車株式会社
 日産自動車株式会社 日本自動車連盟(JAF)
 ヤマハ発動機株式会社 (GO車庫)

自動車協会連合会、JAFメディアワークス、JAFサービス、日本自動車教育振興財団、東和不動産、日本自動車会議所

【プログラム一覧】

	社名	プログラム名	学年	時間	定員	
教室型	株式会社 ジェイテクト	クルマのなかはどうやって動いているの？ 組み立てキットで工作	1～6	10:30～12:00 13:00～14:30	20名 20名	
	トヨタ自動車 株式会社	燃料電池教室 燃料電池ってなんだろう？	4～6	10:30～12:00 13:00～14:30	16名 16名	
	日産自動車 株式会社	わくわくプログラミングスクール ぶつからないクルマをつくろう	4～6	10:30～12:00 13:00～14:30	10名 10名	
	ヤマハ発動機 株式会社	誰が一番早いかな？ウインドカーを作ろう コースでタイムアタック	1～6	10:30～12:00 13:00～14:30	20名 20名	
	体験 展示 型	カルソニックカンセイ 株式会社	自分だけのミニカーやかざぐるまが作れるよ ミニカーやかざぐるまは持ち帰り可能	1～6	10:00～15:00 (所用約20分)	なし
		埼玉自動車 大学校	クルマのせいをたいけんしてみよう タイヤこうかんもしてみよう			
日本自動車連盟 (JAF)		じぶんのめんきょしょうをつくってみよう				
ヤマハ発動機 株式会社		エンジンをかけてみよう キッズバイク	1～6	午前4回、午後8回 (各20分)	各5名	



宇野重規氏

の人生の各段階をどうイメージし、自分の人生の「物語」を作り、修正していくか。

(2) これからの人生において、「どこで働くか」も重要。より生産性の高い場所を求める一方、自分にとって意味のある場

所、自分らしくいられる場所であることも大切。

(3) 今後の職業人生は一つの組織にずっと所属するとは限らない。フリーランスの可能性を含め、自分と組織の関係をどう構想するか。

【会員向けメールサービス】

- ▶ 講演資料をご希望の方は、当会議所ホームページの右上の「お問い合わせ」からお申込みください。
- ▶ 「件名」に「第255回会員研修会の資料希望」とご記入の上、必要事項（お名前、メールアドレス）をお書きいただき、「本文」にクルマbizの会員IDをご記載ください。
- ▶ IDがわからない方は、団体・企業名と所属をご記載ください。

日 本自動車会議所は1月18日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で第255回会員研修会を開催し、東京大学社会科学研究所教授の宇野重規氏が「いま問い直す『働くこと』の意味」をテーマに講演した。参加者は約60名。

【講演のポイント】

「働くこと」の意味を考えるうえで大前提となる今後の社会環境の変化は、①人口減少、②AI社会の到来、③人口の長寿化である。そして、「働くこと」の意味のポイントは以下の3つになるのではないだろうか。

(1) 人生100年時代において、人はライフステージごとに生き方を選び直すことが可能となる。自分

「自動車登録等適正化推進運動」を実施中

一変更・移転手続きの早期実施を呼びかけ一

自動車登録等適正化推進協議会・国土交通省

日 本自動車会議所を含む自動車関係13団体で構成する「自動車登録等適正化推進協議会」と国土交通省は、総務省、警察庁の協力を得て、自動車ユーザーに対して、自動車の変更・移転手続きを適正に行ってもらうための啓発活動を展開している。同協議会と国交省では、引越しによるクルマの変更登録や、所有者の名義変更に伴うクルマの移転登録を周知させるためのリーフレットを作成し、関係機関を通じてユーザーへ配布しており、ホームページや広報紙誌などにも掲載して周知に努めている。

自動車の所有者が住所を変更した場合は「変更登録」の手続きを、所有者の名義を変更した場合は「移

転登録」の手続きを、15日以内に行うよう法律（道路運送車両法）で義務付けられており、こ

れを怠ると罰金が課せられることもある。軽自動車も同様に、住所や名義を変更した場合には、「自動車検査証の記載事項の変更手続き」が必要だ。

変更すべき登録内容をそのままにしておくと、リコールの案内や、税金・保険の通知が届かないこと

もある。また、これらの通知が以前の住所や所有者に届けられると、トラブルの原因にもなりかねない。さらに、盗難や事故の際、所有者や使用者の確認が遅れるといった支障をきたす恐れなどもあることから、同協議会と国交省では、転勤や就職などで人の移動が活発化する年度末から新年度初めにかけて、クルマの適切な手続きの周知徹底を図っている。

なお、住所変更に伴い、自動車のナンバーが変わる際には、自動車のナンバープレートに自分の希望する番号をつけることもできる。

リーフレットは市区町村、警察署、運転免許センターなどの窓口で配布されており、裏面には全国の間い合わせ先電話番号の一覧が掲載されている。詳細は同協議会事務局の一般財団法人自動車検査登録情報協会のホームページにも掲載されている。アドレスは次のとおり。

<http://www.airia.or.jp/campaign/index.html>

訃報

日野自動車販売（現日野自動車）元社長
（当会議所会員元代表者）

伊従 正敏氏

日野自動車販売（現日野自動車）元社長の伊従正敏氏が2月6日、逝去された。93歳だった。

□■□■□

福井県自動車会議所前会長
トヨタカローラ福井会長

中川 勇次氏

福井県自動車会議所前会長で、トヨタカローラ福井会長の中川勇次氏が2月15日、逝去された。76歳だった。

中川氏は1988年5月トヨタレンタリース福井社長などを経て、2006年5月からトヨタカローラ福井会長を務められていた。また、1993年2月日本自動車販売協会連合会福井県支部長、1999年5月福井県自動車販売店協会会長、2009年6月福井県自動車会議所会長などを歴任され、地元経済の発展に尽力された。2017年に福井県自動車会議所会長を退任され、顧問を務められていた。

日本自動車会議所ホームページ

新着情報ランキング(2019.2/1 ~2/28)

Google アナリティクスより

	ページタイトル	ページビュー数
1	国交省、車検証をICカードに22年度中に切り替え	752
2	国交省、新たにエーミング作業も分解整備の定義に追加	684
3	自動ブレーキ普及加速、昨年の装着率9割前後	420
4	警察庁、昨年の交通事故 自動ブレーキ普及で追突が目立って減少	353
5	自動車用動力伝達技術研究組合（TRAMI）発足	351
6	OBD車検、エーミング未実施は不合格 スキャンツール機能拡充が不可避	332
7	日刊自動車新聞創刊90周年記念第2弾「自動車産業シンポジウム」	292
8	パナソニック、2021年度に向けた車載事業の中期戦略を発表	226
9	静岡トヨペット、沼津で子ども向けイベント 初の店舗外開催	211
10	SIP シンポジウム「自動運転のある未来ショーケース～あらゆる人に移動の自由を～」を2月6・7日に	203
11	軽量化の有力技術、進化するマルチマテリアル	181
12	自動車関連企業、“E T ロボコン”に積極参加 教育や採用に成果	177
13	安協 第59回交通安全国民運動中央大会を1月17日に開催	166
14	国交省、自動運転システム整備に認証制度を新設へ 名称「特定整備」に	165
15	国交省補正予算 UD タクシーに追加補助金 災害時協定が要件	149
16	軽検協、OSS開始を延期 省令の改正作業に遅れ	134
	計（17番目以降も含む）	27,389

日本自動車会議所

事務局長兼企画部長に石田 喜三氏

日本自動車会議所の事務局長兼企画部長に3月1日付で本田技研工業(株)出身の石田喜三氏が就任した。前任者の松尾智彦氏は日本自動車会議所を退任し、3月1日付で本田技研工業(株)



総務部リスクマネジメント課へ帰任した。

石田 喜三（いしだ・よしみつ）氏略歴

1986年4月本田技研工業(株)入社。1987年(株)本田化学器研究所、1988年(株)本田技術研究所電装品開発ブロック及び商品企画室、スマートモビリティ開発室、R&DセンターXビークルグループなどを経て、3月1日より当会議所事務局長兼企画部長に就任。東京都出身、56歳。